



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

捨印

平成 30 年 1 月 19 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ムサチヨウナイカイ
団体名 牟佐町内会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者 職・氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	「産地牟佐」にこだわった地域活性化
事業実施小学校区・地区	牧石学区・牟佐町内会
事業実施回数	新規 ・ ☒ 継続 2 回目 / 【平成 29 年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 昨今、我が地域は、農家が積極的に黄ニラやパクチーを全国的に売り出し、大きな注目を浴びている。一方では、山と川に囲まれた豊かな自然があり、種々の自然資源が存在するが、今日では、ごく一部の人がそれらに関わるばかりで、一般の住民や子供達がそれらに直接触れる機会はほとんどない。その存在も、ましてやそれらが活用できる資源であることも知られていないのではないかと。日常にある、あるいは身近にあることは知っていても、触れることがないために、その価値を知らない、わからない。しかし、これでは地域にとっては大変に残念なことと言わざるを得ない。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 大切な自然の恵みが身近に存在するということを知り、ワークショップ的に活用し、より地域に対する愛情、誇り、アイデンティティの醸成などにつないでいく。

事業の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 町内の農家、猟師とまちづくり協議会等との連携により、 ・町内での農産物被害対策としての有害獣の駆除活動の紹介・学習 ・町内で駆除されたイノシシ等のジビエ利用や皮革活用（ワークショップ）等を通して自然資源の大切を学ぶ。 これについては、昨年の取組みの参加者アンケートからも明確にわかる通り、初めて体験するワークショップに対する住民の関心度、満足度はとても高かった。今回は、参加の機会拡大に挑戦してみたい。地域外からも聞こえてくるのは、皮革に対する関心の高さである。イノシシにとどまらず、鹿の被害から駆除も始まった。加工のプロに指導を受けながら、対価を得ることができるような「産地牟佐」ブランドの製品づくりにもチャレンジしてみたい。中でも特に関心の高い方々にはチームを作っていただいて、「産地牟佐」ブランドの製品づくりに具体的に挑戦いただき、地元の岡山刑務所で毎年開催される矯正展において、販売することも試してみたい。 ジビエ（シシ肉入りカレー等）も好評であったことから、そのPRのためにも、いわゆる子ども食堂的なもの等をイメージして、もう少し広く提供できないか検討してみたい。 ・町内での蜂蜜づくりの挑戦・紹介・学習 ・地元の旭川で獲れた鮎、川ガ二等の紹介・学習・試食 ・町内にある「太戸の滝」の紹介 ・町内の自然や暮らしなど地域をテーマにした写真展の開催
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 ・参加者から感想等作文を募り、意識の変化や事業への期待を読み取り、事業の目的がどの程度達成できているかを調査したい。 ・住民が我が地域の資源を知ることによって地域に対するアイデンティティを高めることができるが、それを測定する方法があれば、教えてほしい。
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 有害とされ駆除されるイノシシ等の皮が活用されることはなかった。町内で捕獲されたイノシシの皮をなめして町内へ戻していただいて、町内で皮革として革製品に加工（ワークショップ）。そして、参加者がそれを活用する。初めての試みとして、町内で蜂蜜づくりに挑戦することで自然資源がいかに身近に存在するかを知ることができる。これらは「産地牟佐」として、認識を深めることができる。 写真はもちろん、取り組みを動画で記録。インタビュー等により、住民が主役の内容とする。

協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 ・町内の猟師（山、川）：有害獣駆除、加工処理 ・加茂川有害獣利用促進協議会：有害獣皮処理、発送 ・MATAGI プロジェクトプロジェクト（東京都墨田区 山口産業）：皮のなめし、染作業 ・岡山県セルフセンター：皮革製品製作指導、加工器具提供 ・牟佐町内会：関係団体調整、本事業実施、経費負担 ・牟佐区（農家組織）：被害状況報告、有害獣駆除補助 ・牟佐町内会子供会：小学生の参画について企画提案 ・牟佐まちづくり協議会構成団体（シニアクラブ、婦人部ほか）：ジビエ料理ほか調理、ワークショップ開催 ・牟佐町内ボランティア：有害獣駆除補助
事業の情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 ・町内住民へチラシ配布 ・電子町内会にてネットによる情報発信 ・ユーチューブ等への動画による情報発信 ・報道機関への情報提供
学区・地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。 ・連合町内会、北公民館へはチラシやニュース等配布。電子町内会や町内会コミュニティのFacebookにより一般に情報提供。企画・運営は町内会が核となっているが、事業としては、積極的に参画・協働する子ども会を通じて学区内や学校へ広がり、協働する岡山県セルフセンター、加茂川有害獣利用促進協議会、猟友会等を通じて、市内・県内へ広げ、MATAGI プロジェクトを通じて、全国へも広げていきたい。
前年度からの見直し・拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したことを記載してください。 ・動画記録や子どもたちの感想文については、スタッフを準備することができなかったため実現できていない。要はスタッフが存在するかどうかなる。今年度は何とかできないかと挑戦してみたい。 ・イノシシや鹿の皮革に対する関心の高さをふまえ、さらにレザークラフト教室への参加機会を拡大するとともに、特に希望する方々でチームを作り、完成度の高い、対価を得ることができる程度の製品にも挑戦し、「産地牟佐」ブランドで、岡山刑務所での矯正展において販売してみたい。 ・ジビエ（シシ肉入りカレー等）に対する評価も、シシ肉がとてもおいしいという感想が多く聞こえてきたことから、地元産のジビエの味を知っていただく機会を拡大してみたい。これについても成功すれば、将来的には「産地牟佐」のジビエとして、対価を得ることができるのではないかと考えている。衛生基準等を学ぶなど、その方向も探してみたい。

次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ①次年度以後の活動計画 ・引き続き皮革が確保できるようであれば、同様のワークショップを開催。 ・引き続きアドバイスもいただき、ブランド化や販売につなげることができる可能性を探る。 ②資金の確保について ・次年度も区づくり推進事業を申請する予定
その他PRしたい点	農水省が実施した「平成 29 年度鳥獣被害対策優良活動表彰」表彰候補の募集を知り、「捕獲鳥獣利活用部門」に応募した。結果はまだ出ていないが、このように積極的に内外に情報を発信し続けたい。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	・牟佐の自然をテーマにした写真展準備作業 ・「産地牟佐」の蜂蜜づくり事業準備
5月	・町内会文化祭を活用し、牟佐の自然をテーマにした写真展の開催 ・「産地牟佐」の皮革製品作成ワークショップ案内作成準備会議立ち上げ
6月	「産地牟佐」の皮革製品作成ワークショップ案内作成準備会議・作業
7月	・「産地牟佐」の皮革製品作成ワークショップの開催（子ども会ほか） ・「産地牟佐」の蜂蜜づくり事業紹介
8月	
9月	
10月	町内会運動会を活用し、「産地牟佐」事業の紹介
11月	「産地牟佐」の皮革製品作成ワークショップの開催（大人の部）
12月	・もちつき大会を活用し、ジビエ料理ほか（しし汁、カニ汁etc.）試作、試食 ・「産地牟佐」の蜂蜜づくり事業紹介
1月	
2月	町内会総会にて、記録の発表・報告
3月	反省会開催

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	176,000	166,000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	71,850	136,000	
参加者負担金	27,100	30,000	
協賛金			
寄付、他収入			
計	274,950	332,000	

◆ 支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	30,000	30,000	会議資料用紙、プリンターインク、文具、記録媒体 30,000
食糧費	20,000	21,000	会議茶 @3,000×7 回
印刷製本費	10,000	20,000	記録資料(紙) @100×100=10,000 記録資料(DVD) @100×100=10,000
報償費	32,000	20,000	皮革加工指導 2 回 @10,000
原材料費	37,000	40,000	ワークショップ ジビエカレー材料 10,000 レザークラフト材料 30,000
委託費	128,000	150,000	①害獣加工処理@1,000×15 頭=15,000 ②皮革なめし処理 @9,000×15 頭=135,000
使用料	0	15,000	①皮革加工器具借用 @5,000 ②ミツバチ巣箱借用 @10,000
通信運搬費	16,000	16,000	皮革運送料@2,000×8=16,000
保険料	1,950	20,000	@10,000×ワークショップ 2 回 皮革製品作成等 2 回
計	274,950	332,000	

◆ 概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

: 前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注①: 支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。

平成30年1月19日